



第44回日本骨折治療学会

エンダー法セミナー

ハンズオンセミナー 3

日時：2018年7月7日(土)
9:00-11:00

会場：岡山コンベンションセンター
3F 302 会議室
(ハンズオンセミナー会場)



近年の社会構造の変化に伴い、骨折の治療も時代とともに変遷してきています。

大腿骨転子部骨折の治療においては、一世を風靡したエンダー法が減少し、比較的平易な CHS 法・ γ -nail 法が主流となり、また大腿骨や下腿骨の骨幹部骨折においても、inter locking nail 法などの定型的な手術が主流となっているようです。しかし、技術的に平易な定型的な手術を行ってれば、それで良いのでしょうか？中には CHS 法・ γ -nail 法・inter locking nail 法では対処が困難な症例に遭遇します。その時にこそエンダー法が威力を発揮できるのですが、技術的なポイントを習得しないとなかなかうまく行きません。しかし、エンダー法をよく理解した上で行えば、素晴らしい結果を得ることができます。また、エンダー法は、自ら思考することにより立体的な感覚を磨くことができます。エンダー先生自身が申しておりました。『Operation is Art』と…。エンダー法は、整形外科手術全般のセンスを磨く最良の手段です。困難な症例に遭遇しても、エンダー法はそれを克服していけるものと確信しております。

そうは言っても、現在そのポイントを学ぶ機会が少なく、なかなかエンダー法を経験する場が少ないのも現実だと思われれます。

例年、エンダー法セミナーを第39回日本骨折治療学会から学会内で開催し、多くの先生方にご参加頂き盛況だったことから、本年度も第44回日本骨折治療学会でのセミナー（モーニングセミナー及びハンズオンセミナー）として開催することにいたしました。

国内でエンダー法を習熟されている先生方の講演・ハンズオンを開催することで、皆様にとって有意義なセミナーになるものと確信しております。つきましては、皆様の奮ってのご参加をお待ち申し上げます。

エンダー法セミナー 世話人一同

2018年7月7日(土) 9:00-11:00 会場：岡山コンベンションセンター 3F 302 会議室

※セミナー名：第44回日本骨折治療学会 ハンズオンセミナー 3

座長：安藤 謙一 先生（日進おりど病院 整形外科）

演題名(演者)：「Ender 法を推奨する症例」

早川 和恵 先生（藤田保健衛生大学 整形外科）

「救急整形外傷・小児長管骨骨折に対する Ender 法」

小原 周 先生（横浜新都市脳神経外科病院 整形外科）

「Ender 法の基本手技」

高畑 智嗣 先生（上都賀総合病院 整形外科）

ハンズオン（脛骨骨幹部骨折・大腿骨転子下骨折） エンダー法セミナー世話人一同

共催：第44回日本骨折治療学会 / ミズホ株式会社

エンダー法セミナー

ハンズオンセミナー 3

●ご参加希望の先生方には事前登録をお願い致しております。

下記のホームページよりご登録ください。

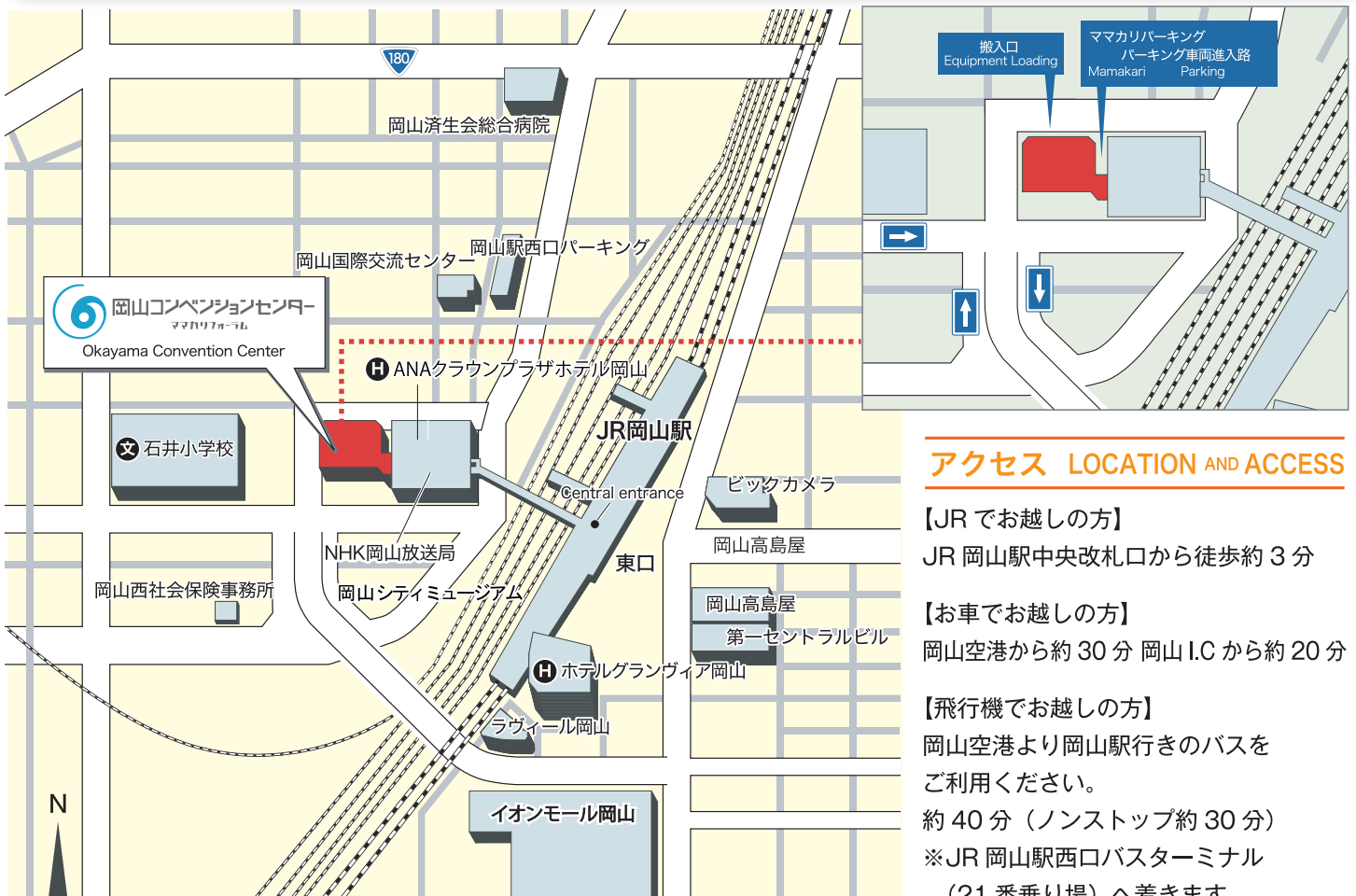
定員になり次第受付締切とさせていただきます。

聴講におきましては制限はございません。

<http://www.doc-japan.com/ender/>

または

交通案内



アクセス LOCATION AND ACCESS

【JRでお越しの方】
JR岡山駅中央改札口から徒歩約3分

【お車でお越しの方】
岡山空港から約30分 岡山ICから約20分

【飛行機でお越しの方】
岡山空港より岡山駅行きのバスをご利用ください。
約40分（ノンストップ約30分）
※JR岡山駅西口バスターミナル（21番乗り場）へ着きます。

お問い合わせ

エンダー法セミナー事務局

ミズホ株式会社 整形・脳神経外科事業部

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-30-13 TEL:03-3815-3096 FAX:03-3813-5068 E-mail:t.tanaka@mizuho.co.jp